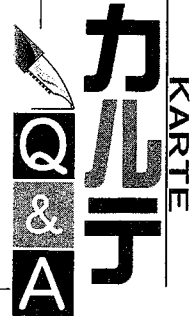


排尿障害でいつも残尿感があります。一日違和感があることもあり、困っています。直腸がぼうこうを押さえているような違和感です。40代で子宮と卵巣片側を摘出しました。どう対処すればいいのか助言をお願いします。
(80歳、女性)



女性の排尿障害

今回質問の方は、40代で子宮と片側卵巣を摘出されているとのこと。解剖上、ぼうこうと直腸の間に子宮は元々位置しています。その子宮を摘出されていると、子宮の場所空間ができるため、ぼうこうが直腸の方に落ち込んで

違和感が生じていることも否定できません。また、子宮を摘出される手術を受けられた影響で、骨盤底筋という骨盤内の臓器を支える筋肉が弱ってしまったという可能性もあります。その場合、直腸やぼうこうといった

という報告もあります。治療法としては、骨盤底筋体操、子宮リング(ペッサリ)を膈内に挿入、もしくは手術といった治療法が挙げられます。まずはご自宅でも骨盤底筋体操をしていただくのがよい

泌尿器の専門病院もしくは、婦人科病院で相談されて検査を受けられるのが良いと思います。
(兵庫県泌尿器科医会、岡田 宣之||尼崎市、おかだ腎泌尿器・ペインクリニック)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

体操で改善しなければ手術も

きている可能性があります。その影響から直腸がぼうこうを押さえているといった感覚や残尿感につながっていることが考えられる上、場合によっては実際にぼうこう内に尿が残っていることもあり得ます。普通の生活の中で気付くことが難しい残尿から、違和

残存している骨盤内の臓器を支える支持組織が弱ってしまい、骨盤内の臓器が骨盤外に落ち込み、残尿感や残尿、症状が進むと直腸などの位置が下がる「骨盤臓器脱」を引き起こす可能性もあります。実際に骨盤臓器脱の1割程度の方が子宮を摘出していた

ですが、病状が進行しているとなかなか効果が出ない可能性も少なくありません。治療法の選択については、ぼうこうがどの程度直腸側へ落ち込んでいるか、骨盤臓器下垂もしくは骨盤臓器脱の程度、残尿の有無といった現状の診断がまず重要です。女性